

SolidDrive SD-1-Tシリーズ

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

SD-1-T / SD-1sm-T / SD-1g-T 設置・使用ガイド

優れた音響体験を実現

Induction Dynamicsの豊富な音響製品ラインアップにより、設置条件を問わず理想的な音響システムを構築できます。厳選した部品・材料を使用し、独自の実証済み技術を数多く採用しています。

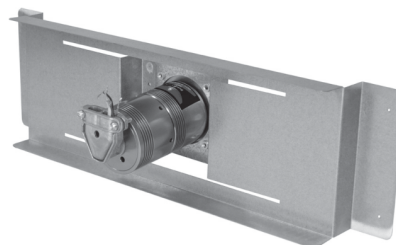
製品仕様

形式	フルレンジトランスデューサー
周波数特性	70 Hz - 15 kHz
推奨アンプ出力	10 W
SD-1-T / SD-1sm-Tの寸法	本体径2.3インチ × 高さ4.8インチ、取付フット径3.5インチ
SD-1g-Tの寸法	本体径2.3インチ × 高さ4.8インチ、取付フット径2.0インチ
質量	1.5 lb / 0.68 kg
UL登録	1480A / 2043

注意：カナダで設置する場合は、Canadian Electrical Code C22.2、No. 205-17に従ってください。

壁内・天井内取付ブラケットの仕様（石膏ボード用）

形式	特許取得済みのバランス式片持ちバネブラケット
構造	高耐久の亜鉛メッキ鋼製
寸法	120C：高さ2.0 × 幅13.5 × 奥行5.0インチ 160C：高さ2.0 × 幅17.5 × 奥行5.0インチ 240C：高さ2.0 × 幅25.5 × 奥行5.0インチ
質量	1.0 lb / 0.45 kg



SolidDrive SD-1-T In-Wall and In-Ceiling

警告：使用前に説明書をお読みください。火災や感電の危険を減らすため、雨や湿気にさらさないでください。清掃前に電源プラグを抜き、湿らせた布で清掃してください。ユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のある担当者へ依頼してください。

SD-1-T / 壁・天井への設置

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

設置を始める前に

SD-1-Tを壁や天井の内部へ設置し、完全に隠れた音響システムを構成できます。

本体1台と10 Wトランス、4本の接続リード線、デュプレックス電線管コネクタ1個を付属します。用途により追加の取付部材を本体とともに注文するか、施工者が用意します。

石膏ボードへの設置では、本体1台につき専用壁内取付ブラケット1個を用意します。ブラケットには本体固定用の#8-32 × 5/16インチのプラス皿小ネジ4本を付属します。間柱や天井根太の中心間隔に合わせて、120C、160C、240Cを注文時に指定します。施工者は1 3/8インチの石膏ボード用ネジ4本と、3M® Super 77スプレー接着剤1缶を用意してください。

既存の石膏ボードに後付けする場合は、ボードの一部を取り外し、本体設置後に戻す必要があります。「既存の石膏ボード」と記した手順に従ってください。新築時は、それらの手順を省略してください。

手順1：既存の石膏ボードに開口を設ける

既存の石膏ボードにブラケットを取り付ける場合は、長方形の開口を設けます。推奨する最小開口は高さ約15インチ、幅は隣接する間柱の幅を越える大きさです。ブラケットの固定、石膏ボードの継ぎ目のなじませ・仕上げを行いやすくし、適切な音の分布と最適な性能を得られます。

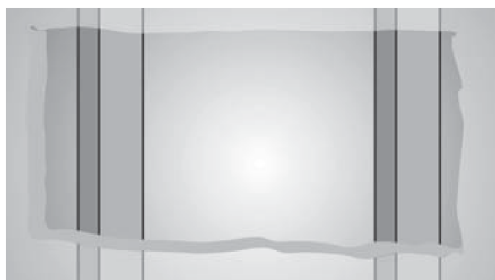


図1：間柱にブラケットを取り付けられる大きさの開口

手順2：間柱・天井根太へブラケットを固定する

ブラケットを間柱や天井根太の間に置き、1 3/8インチの石膏ボード用ネジ4本で固定します。各フランジの4つの穴へネジを入れ、間柱・根太の正面へ固定します。ネジ頭をフランジ面と同一面まで沈め、石膏ボードがフランジに密着するようにしてください。

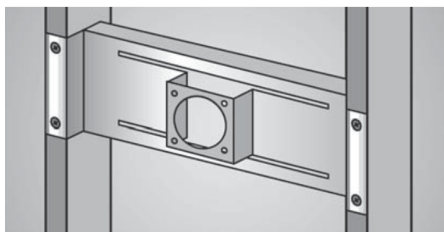


図2：間柱に固定したSD-1-Tブラケット

SD-1-T / 本体固定・電気配線

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

手順3：本体をブラケットへ固定する

ケーブルをブラケット正面の丸穴へ通します。本体も同じ穴へ入れ、大型取付ベースを石膏ボード側に向けてブラケット正面へ密着させます。ベースの取付穴をブラケットのネジ穴へ合わせ、プラス皿小ネジ4本で確実に固定します。

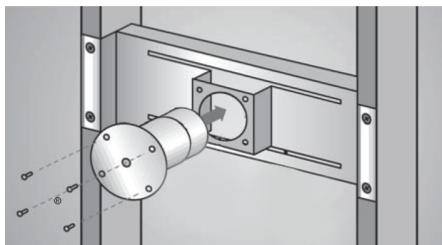


図3：本体をブラケットへ取り付け

手順4：電気配線を接続する

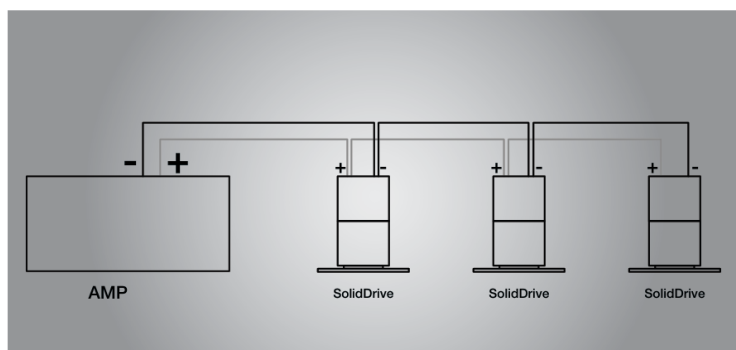
使用するトランスタップを選び、SD-1-Tとスピーカーケーブルを接続します。

注意：カナダで設置する場合は、Canadian Electrical Code C22.1、Part 1に従ってください。

黒	COM（共通）
赤	10 W
黄	5 W
青	2.5 W

図4：トランスの接続
10 W：5線入力

複数のSolidDriveを接続する場合：アンプの一端子をすべての黒線（COM）に接続します。アンプの+端子を、各本体で使用するタップに対応する色の線へ接続します。使用しない線は露出した芯線を切り取り、互いに短絡しないようにしてください。これを怠ると、誤動作や予期しないアンプ負荷の原因となります。



手順5：石膏ボードと本体ベースへ接着剤を塗る

本体がパネル中央、または端からできるだけ離れた位置になるように石膏ボードを配置します。取付前に、新しいボードの寸法を測り、ベースが接触する位置へ3M® Super 77スプレー接着剤を十分に吹き付けます。大型取付ベースにも十分に吹き付け、飛散防止のマスキングを強く推奨します。注意：石膏ボードとベースの両方に接着剤を塗らないと正常に動作しません。

SD-1-T / 仕上げ・木材・ガラス

SoundTube / SolidDrive 日本語取扱説明書

手順6：既存の石膏ボードを戻す

切り取った長方形の石膏ボードを戻す際は、切断部と既存のボードの間を均一に密閉することが重要です。適切な音の分布と最適な性能のため、ビニル系ではない速硬化型ジョイントコンパウンドで隙間を完全に埋め、その後、通常のテープ処理、研磨、仕上げを行います。

手順7：新しい石膏ボードを取り付ける

スプレー接着剤が固まる前（約10分以内）に、新しい石膏ボードをすぐに取り付けます。最終位置を決める前に調整できるようにし、間柱や天井根太へ合わせてネジ止めします。ボード間をジョイントコンパウンドで埋め、通常のテープ処理、研磨、仕上げを行います。継ぎ目を埋めることで音量と全体の音質が改善します。

SD-1sm-T：木材への設置

木材、化粧板、複合材、その他の多孔質の面に取り付けられ、デスク、会議テーブル、キャビネット、その他の家具に使用します。取付位置を決めたら、本体底面に3M® Super 77接着剤を薄く吹き付け、適切な長さの木ネジで固定します。接着剤は本体から設置面への音の伝達を改善します。家具の下面や背面など、通常は見えない場所が適しています。4つの穴には#9までのネジが使用でき、材質が硬い場合、特に太い粗目ネジでは下穴が必要な場合があります。

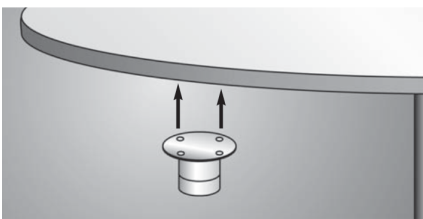


図1：テーブルへの取付

SD-1g-T：ガラスへの設置

付属のVHB両面粘着ディスクを使用し、窓の目立たない位置に取り付けます。片側の保護フィルムを剥がして本体底面（ラベルと反対側）へ貼り、もう片側を剥がして、適度な圧力でガラス面へ貼り付けます。窓枠から約4 - 6インチ離して設置します。窓の面積が20平方フィート以上の場合、最大出力が得られます。

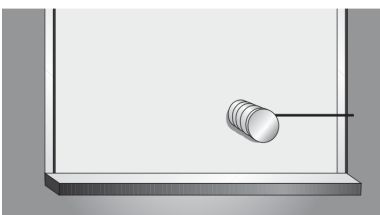


図1：ガラスへの取付

保証：SolidDrive製品は購入日から7年間保証されます。誤使用や改造を行うと保証は無効となります。